

ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行の平成22年度の業績と現況などについてご説明した「筑邦銀行ディスクロージャー誌ちくぎん2011」を作成いたしました。本誌を通じて“ちくぎん”を身近に感じていただければ幸いです。

平成22年度の経済環境は、当行の主要な営業基盤であります福岡県におきましても、アジア新興国を中心とした海外経済の成長を背景に輸出や生産が持ち直し、景気回復の兆しが見えておりました。ところが3月11日に発生した東日本大震災と原発問題の影響で、期末にかけて資材価格の高騰や生産活動の低下等により景況感が急速に悪化しました。本年度に入っても原発問題が尾を引き、地域経済の先行きには不透明な状況が続いております。

こうしたなか、当行は「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して、平成21年4月から「人間力の育成」「経営課題対応力の強化」「現場実践力の向上」を3つの基本方針とする「中期経営計画2009」に全力で取り組んでおります。本年度は3ヵ年計画の最終年度となりますので、役職員一同、一丸となり基本方針に基づき諸施策を着実に実践してまいります。

システム面では、昨年1月より新勘定系システムである「Bank Vision」が安定稼働しており、多様化するお客さまのニーズに対応した商品の提供やサービス時間の延長が可能となりました。昨年12月には、お客さまの利便性の向上のため「セブン銀行」とATM利用提携を行ない、セブン銀行の1万5千台以上のATMで当行のキャッシュカードがご利用いただけるようになりました。店舗網の整備では、本年9月に福岡支店をリニューアルオープンし、10月には当行としては17年ぶりの新規店舗となる「千早支店」を福岡市東区にオープンする予定です。また、本年7月1日に筑邦銀行グループの総合力の向上と、地域経済発展への貢献を目的として「(株)ちくぎん地域経済研究所」を設立しました。当研究所は関連会社である「ちくぎんコンピュータサービス(株)」の事業を継承、IT関連サービスはもちろんのこと、新たに経営コンサルティング業務や経済調査業務を行います。

当行はこれからも地域の銀行として、お客さま、株主、地域社会の皆さまのご期待にお応えすべく、諸施策に全力で取り組んでまいります。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年7月



頭取 佐藤 清一郎